

の國にての難行苦行、山吹の花さく春にかへりきては姑さんもホクホク喜びて一家とこととはに雨もなくまた風もなくサンニイステートと自慢する加洲の天地と等しくなるでございませう。

裏店の紹介かくの如しだとサ。日の本ならばアバヨと云ふべきところ、この半熟のジャップガールをまねてバイバイ。

(完)

幼稚園と家庭

幼稚園から家庭へ望むこと

東基吉述

附添人送り迎へ人のこと

附屬幼稚園では時々先生方から附添人を集めて、子供の躰けや取扱ひ方に付いての大體を話す様になつて居りますが、これは至極結構な事と思いま

す。今日で下婢や子守りが教育の考のない事は普通です。今日で下婢や子守りが教育の考のない事は普通のですから、彼等のために、折角幼稚園での心盡しの躰け方も丸で水泡になつてしまふことのあるのは、悲しむべきことであります。家庭の方でも、此點に心を用ゐられて、時々子供の教育上注意すべきことなぞに付きて、下婢や小守りに教訓せられるといふ様になさるなら、幼児教育上誠に都合のよい事と存じます。そしてこの事は、たい自分達の子供の爲のみならず、一方には又傭人の教育といふ點から、實に彼等の將來の幸福の一つとなる事なのであります。

夫から送り迎へによこす人は、丸で子供同様な不注意な小僧や小守りでは、別項記載の様な危険を避けさせるなどいふ事も覺束ないのでから、なるべく譯の分つた確りした人をふよこしになること

が必要であります。

子供の道具に名前

それから、幼児のお辨當とか手巾とか帽子とか其他子供の持物へは、すべて名前をつけて置くことが、最も幼稚園の方で望ましい事なので、夫が爲めに、置き忘れとか紛失の場合などには、幼稚園の方でも手数が省ければ、子供にとつても、まことに仕合はせな事になります。

手巾は必ず持たせること

幼稚園へくる時許りではございません。子供には始終手巾を前掛のポケットへ入れさせておくか、帯へさげさせて置くかして、持たせてふさいいのであります。殊に幼稚園の様な大勢集まる所では、例令へ皮膚病等は、どれ程注意してゐるにしても、便所などの共同の手拭はなるべく使はせ

ない様にしたいものですから、是非とも持たせて置きたいのであります。

幼児への談話の仕方

和田 實

前號には、女子高等師範學校で取調べられた、幼児への、談話の種類や、其教育的價値に就て、有益な説明がありました。が、それに就て、私の感じた事を少し書きたいと思ひます。殊に説話式を用ひて、幼児に御話をなさるときの、話の仕方に就て、思ひついた事を述べたいのです。

一 説話者の意氣 幼児は、社會心に動かさるゝ事、最も鋭いものです。殊に談話を聞く時などに、其話す人の意氣が、沈んで居つたり、厭氣に見えたり、などすると、もう直に、いやになつて、聞